

家庭学習の手引き（保護者用）

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとっても大切なものです。

小学校のうちに机に向かう習慣がのちのちの家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身につけさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。（5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。）
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。（忘れ物を無くさせる手立てです。）

2 時間のめやす

- ・ 低学年 15分から20分以上
- ・ 中学年 30分から40分以上
- ・ 高学年 50分から60分以上

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツ（少年団）など、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でもよく話し合っ、無理のない時間設定をしてください。

② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。ほめたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりするなど見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

④ 学校との連携

お子さんの学習の様子で気にかかることがあれば、小さいことでもご遠慮なく担任にお知らせください。